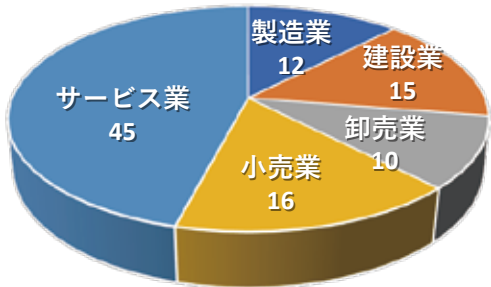


弘前商工会議所企業景況調査結果【令和5年7月～9月期】

- 1 調査対象…………… 弘前商工会議所会員企業
- 2 調査対象期間…………… 令和5年7月～9月期
- 3 調査方法及び回答方法… 当所10月会報に折込発送、FAX並びに回答フォームにて回答
- 4 回答企業の内訳……………

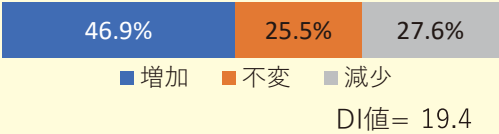
業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
回答数(件)	12	15	10	16	45	98
構成比	12%	15%	10%	16%	46%	100%



- 5 業況について……………
- ※DI値（景況判断指数）について $DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$
DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がり意味着します。
各項目の7月～9月期は実績、10月～12月期は予測となります。

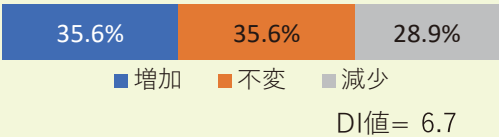
売上額について

・7月～9月の売上額の昨年同期との比較
<全業種>



業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	66.7%	0.0%	33.3%	33.3
建設業	40.0%	40.0%	20.0%	20.0
卸売業	40.0%	40.0%	20.0%	20.0
小売業	56.3%	25.0%	18.8%	37.5
サービス業	42.2%	24.4%	33.3%	8.9

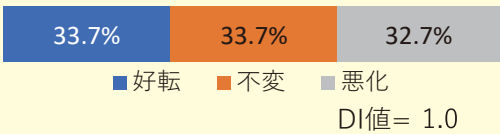
・10月～12月の売上額の昨年同期との比較
<全業種>



業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	50.0%	16.7%	33.3%	16.7
建設業	30.8%	53.8%	15.4%	15.4
卸売業	40.0%	30.0%	30.0%	10.0
小売業	41.7%	33.3%	25.0%	16.7
サービス業	30.2%	37.2%	32.6%	-2.3

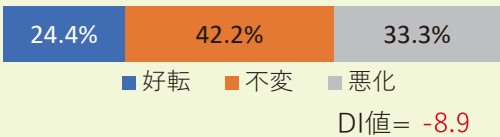
採算（純利益）について

・7月～9月の採算（純利益）の昨年同期との比較
<全業種>



業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	58.3%	8.3%	33.3%	25.0
建設業	26.7%	53.3%	20.0%	6.7
卸売業	20.0%	30.0%	50.0%	-30.0
小売業	37.5%	37.5%	25.0%	12.5
サービス業	31.1%	33.3%	35.6%	-4.4

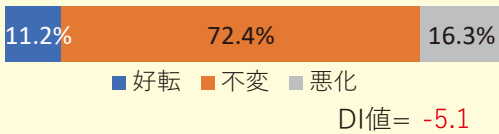
・10月～12月の採算（純利益）の昨年同期との比較
<全業種>



業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	41.7%	25.0%	33.3%	8.3
建設業	23.1%	61.5%	15.4%	7.7
卸売業	10.0%	50.0%	40.0%	-30.0
小売業	25.0%	50.0%	25.0%	0.0
サービス業	23.3%	37.2%	39.5%	-16.3

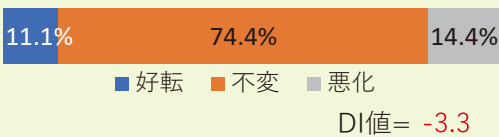
資金繰りについて

・7月～9月の資金繰りの昨年同期との比較
<全業種>



業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	16.7%	58.3%	25.0%	-8.3
建設業	13.3%	80.0%	6.7%	6.7
卸売業	0.0%	90.0%	10.0%	-10.0
小売業	18.8%	62.5%	18.8%	0.0
サービス業	8.9%	73.3%	17.8%	-8.9

・10月～12月の資金繰りの昨年同期との比較
<全業種>



業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	16.7%	58.3%	25.0%	-8.3
建設業	7.7%	92.3%	0.0%	7.7
卸売業	0.0%	90.0%	10.0%	-10.0
小売業	16.7%	66.7%	16.7%	0.0
サービス業	11.6%	72.1%	16.3%	-4.7

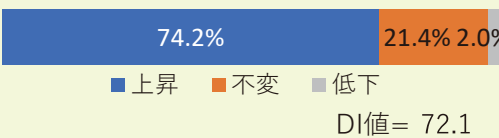
仕入単価について

・7月～9月の仕入単価の昨年同期との比較
<全業種>



業種	上昇	不変	低下	DI値
製造業	66.7%	16.7%	16.7%	50.0
建設業	86.7%	13.3%	0.0%	86.7
卸売業	100.0%	0.0%	0.0%	100.0
小売業	100.0%	0.0%	0.0%	100.0
サービス業	68.9%	28.9%	2.2%	66.7

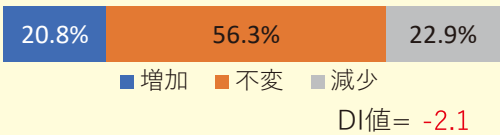
・10月～12月の仕入単価の昨年同期との比較
<全業種>



業種	上昇	不変	低下	DI値
製造業	58.3%	33.3%	8.3%	50.0
建設業	76.9%	23.1%	0.0%	76.9
卸売業	100.0%	0.0%	0.0%	100.0
小売業	100.0%	0.0%	0.0%	100.0
サービス業	64.3%	33.3%	2.4%	61.9

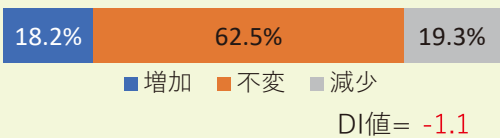
製品・商品在庫について

・7月～9月の製品・商品在庫の昨年同期との比較
<全業種>



業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	25.0%	25.0%	50.0%	-25.0
建設業	6.7%	86.7%	6.7%	0.0
卸売業	60.0%	20.0%	20.0%	40.0
小売業	25.0%	56.3%	18.8%	6.3
サービス業	14.0%	62.8%	23.3%	-9.3

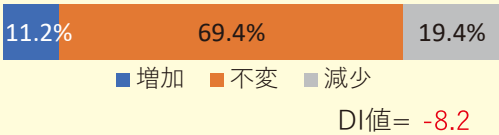
・10月～12月の製品・商品在庫の昨年同期との比較
<全業種>



業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	16.7%	41.7%	41.7%	-25.0
建設業	0.0%	92.3%	7.7%	-7.7
卸売業	50.0%	30.0%	20.0%	30.0
小売業	33.3%	58.3%	8.3%	25.0
サービス業	12.2%	68.3%	19.5%	-7.3

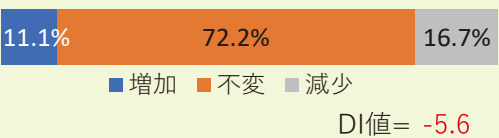
従業員数について

・7月～9月月の従業員数の昨年同期との比較
<全業種>



業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	25.0%	33.3%	41.7%	-16.7
建設業	13.3%	86.7%	0.0%	13.3
卸売業	10.0%	80.0%	10.0%	0.0
小売業	6.3%	62.5%	31.3%	-25.0
サービス業	8.9%	73.3%	17.8%	-8.9

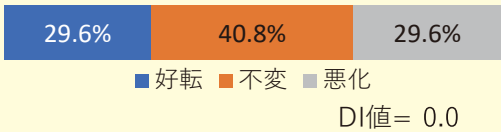
・10月～12月の従業員数の昨年同期との比較
<全業種>



業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	8.3%	58.3%	33.3%	-25.0
建設業	15.4%	84.6%	0.0%	15.4
卸売業	10.0%	80.0%	10.0%	0.0
小売業	8.3%	58.3%	33.3%	-25.0
サービス業	11.6%	74.4%	14.0%	-2.3

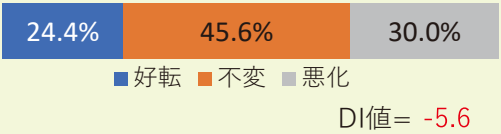
●「業況（貴社）」について

・ 7月～9月の業況（貴社）の去年同期との比較
<全業種>



業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	58.3%	8.3%	33.3%	25.0
建設業	13.3%	66.7%	20.0%	-6.7
卸売業	20.0%	50.0%	30.0%	-10.0
小売業	37.5%	25.0%	37.5%	0.0
サービス業	26.7%	44.4%	28.9%	-2.2

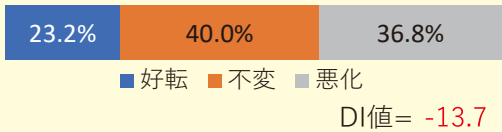
・ 10月～12月の業況（貴社）の去年同期との比較
<全業種>



業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	33.3%	33.3%	33.3%	0.0
建設業	7.7%	76.9%	15.4%	-7.7
卸売業	20.0%	40.0%	40.0%	-20.0
小売業	33.3%	25.0%	41.7%	-8.3
サービス業	25.6%	46.5%	27.9%	-2.3

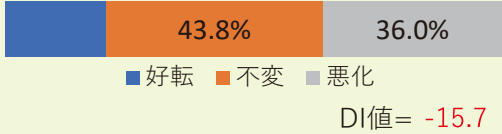
●「業況（業界）」について

・ 7月～9月の業況（業界）の去年同期との比較
<全業種>



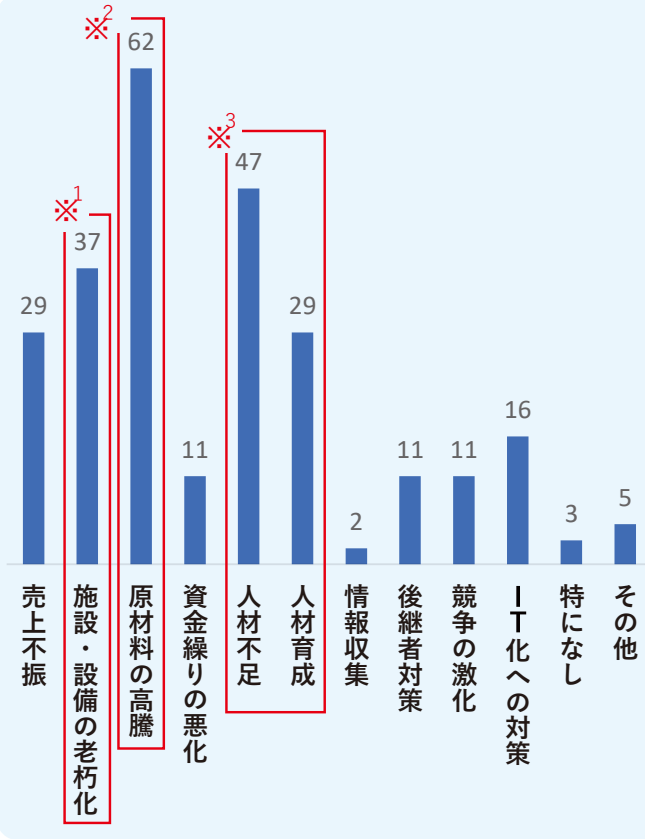
業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	33.3%	33.3%	33.3%	0.0
建設業	6.7%	60.0%	33.3%	-26.7
卸売業	10.0%	20.0%	70.0%	-60.0
小売業	26.7%	40.0%	33.3%	-6.7
サービス業	27.9%	39.5%	32.6%	-4.7

・ 10月～12月の業況（業界）の去年同期との比較
<全業種>



業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	16.7%	50.0%	33.3%	-16.7
建設業	7.7%	61.5%	30.8%	-23.1
卸売業	0.0%	30.0%	70.0%	-70.0
小売業	33.3%	33.3%	33.3%	0.0
サービス業	26.2%	42.9%	31.0%	-4.8

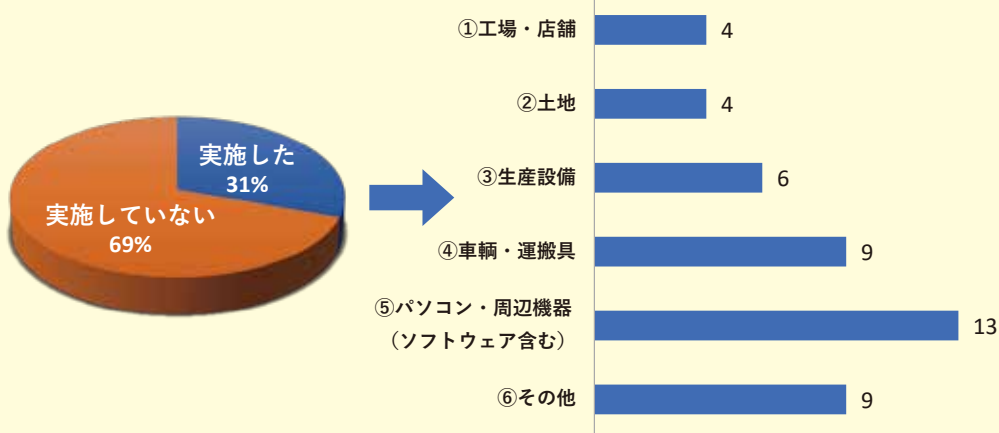
●経営上の課題について（業種別）※複数回答



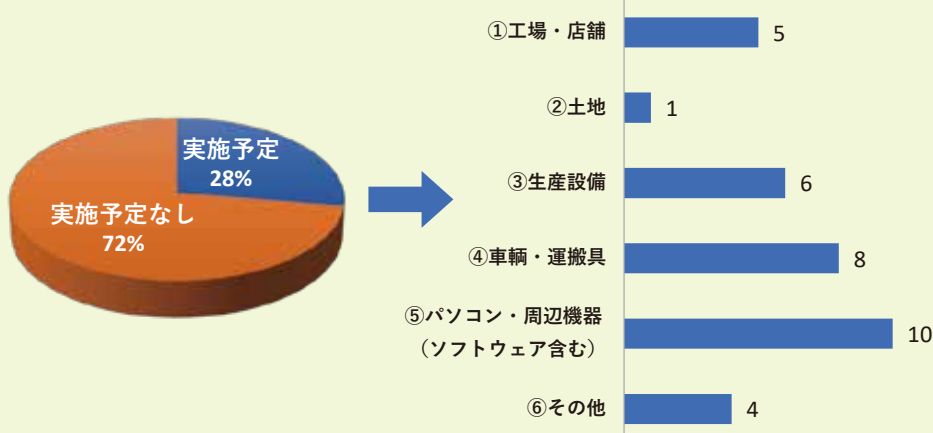
※1	回答数の約5割がサービス業
※2	業種に関わらず全体的に原材料の高騰が課題
※3	製造業及びサービス業の回答が多く、人材不足だけでなく育成も課題

○設備投資の実施状況及びその内容について ※複数回答

・ 7月～9月の設備投資について



・ 10月～12月の設備投資の見通しについて



○経営上の問題について（企業の生の声）

カテゴリー	企業の生の声（一部抜粋）	業種
人出関係	人手不足が続いている（退職者の補充がままならない）	小売業、サービス業、卸売業
	人手不足が慢性化していて、特に職人の高齢化は深刻	建設業
	介護事業部の人員不足	卸売業
	従業員を随時募集しているが応募が来ない	建設業
	人手不足が深刻であり、最終的には会社の自助努力が欠かせないが非常に難しいと感じている	卸売業
	パートの募集をしても集まらず、集まったとしても高齢化している	サービス業
	人材確保とコストアップ	小売業
	人材の育成が特に急務。最低賃金があがるのはいいが、社員側からは給与があがっても生活は楽になってないと不満が漏れ、悪循環につながっている。給与はあがっても当たり前という感覚に陥っており離職や生産性の低下に繋がっている	サービス業
物価等高騰関係	最賃の上昇と物価高騰を考えると給料を上げざるを得ない	サービス業
	原材料高騰のため売上額が増えているが、利益が上らない	サービス業
	販売商品の値上げによる客離れ	卸売業
	原材料、光熱費と人件費は増加するが、製品価格を上げるタイミングといくら上げるのかが悩ましい	小売業
	電器・ガス・人件費・水道料など固定費が大きくなっていて資金不足である	サービス業
その他	ペイペイ決済、高額紙幣、新券対応	サービス業
	民生産機械品における受注数減の影響大である	製造業
	市場環境の縮小に伴う対策（人口減他）	小売業
	社員にバトンタッチすることになっているが、社員に負担かけないようにが難しい	小売業
	資金繰りの改善	サービス業
	現在の業種では先が見えず、新規事業に向けて構想を練る必要がある	卸売業
	新たな収入源の確保	サービス業
	人口減少による労働人口の減少、需要減	小売業、卸売業
	現在の顧客が自分を含めて子育て世代が多くお金を使わない様にしているのでこれからもっと厳しい状況になるのではという不安	サービス業
	9月以降売上不振（昨期まで実施していた各種プレミアム券等イベント減の影響があると思われる）	サービス業
	コロナが五類になって落ちき客数が戻るかと思ったが中々厳しい状況であり、このままでは継続も厳しいと感じている	サービス業